

地域医療連携室便り

2013年1月1日発行 第18号

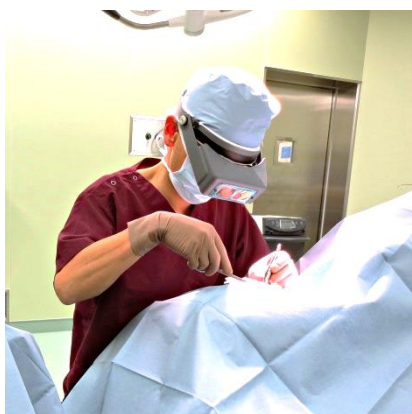
筑波記念病院 HP: <http://www.tsukuba-kinen.or.jp/>
〒300-2622 茨城県つくば市要 1187-299
TEL (代表): 029-864-1212
地域医療連携室 E-mail: renkeishitsu@tsukuba-kinen.or.jp
TEL: 0120-301-266, 029-864-1677
FAX: 029-864-2782

診療科紹介～皮膚科～

皮膚科部長 照沼篤

当科はクリニックの機動性と病院の専門性を生かして、筑波総合クリニックでの外来診療（月曜日から金曜日の毎日）と、筑波記念病院手術室での外科治療をおこなっています。クリニック外来においては、湿疹や真菌症はもちろん、シミやシワなどの美容上の問題から皮膚悪性腫瘍にいたるまで、皮膚のあらゆるトラブルの診療にあたっています。

近年の皮膚科診療で特に目立つのは、基底細胞癌や有棘細胞癌などの皮膚悪性腫瘍で治療を要する患者の増加です。患者ご本人やご家族が病変に気づいて当科を直接受診なさるばかりでなく、地域医療機関の先生方から数多くのご紹介をいただいております。外来ではダーモスコピーなどを用いて診察をおこない、必要に応じて皮膚生検やMRIなどで精査しています。それらの結果と個々の患者の状態を踏まえて治療方針を立て、外科治療の適応例に対しては、病院内の手術室にて腫瘍切除術を施行しています。手術当日にご帰宅いただける日帰り手術を原則としていますが、病変の部位や患者の全身状態などによっては一泊の入院をさせていただくこともあります。ご高齢で基礎疾患のある方が少なくないので、可能な限り侵襲の少ない治療を心がけています。



また、日光角化症などの前癌病変に対しては保存的な外用療法も積極的に取り入れています。

昨今のマスメディアでの啓蒙のおかげもあって、皮膚悪性腫瘍への一般の方々の関心が高まり、比較的早期のうちに医療機関を受診していただくことが多くなりました。基底細胞癌や有棘細胞癌は根治療法を施すことが可能なケースが多いので、的確な診断と治療をもって対応することが私どもの使命と心得ております。疑わしい皮膚病変を有する患者には当科受診をお勧めください。地域の皆様と地域医療機関の先生方のお役に立てるように務めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

地域医療連携公開講座

看護部副部長 飯村もと子

平成 25 年 12 月 19 日、埼玉医科大学名誉教授、元筑波記念会顧問 岡部恵子先生をお招きして、「医療における倫理」のタイトルで講演していただきました。倫理とは何かという問いから始まり、医療者が臨床において直面する倫理的問題、その問題の解決に必要な事柄などについて何うことができました。たくさんの方に御出席いただきまして、ありがとうございました。



次回予定

平成 26 年 1 月 31 日 (金) 19:00～20:00
筑波記念病院 2 号棟 2 階 会議室
筑波記念病院 病理科 臺 勇一
「病理科の実症例」(胃生検について) 他